



第 1 回 (仮称)遠軽豊里 IC 周辺施設基本計画検討協議会 議事概要

※ 事務局の資料説明については省略

1.開会

2.町長挨拶

- IC の事業化まで長い時間がかかったが、命の道路としても重要な道路である。
- 北海道の高規格道路は 2 環状 8 放射で計画されているが、紋別方面への(放射道路の)整備についてはまだ検討段階と書いており、当面は(仮称)遠軽豊里 IC が、端末となる。
- 多くの利用が考えられるため、利用者へのサービスにより地域を知ってもらい、利益を得ることが可能である。一方、スロー効果による流出も考えられる。良い効果が得られるようにみんなで考えたい。
- ロッジの老朽化があるため、道の駅と一体として整備を考えたい。
- 道の駅では、オホーツク地域のものを販売することを考えたい。
- 道の駅の検討では、建物の他に、食べるもの、販売するもの、体験するものなどについても考えたい。

3.委員紹介

4.協議会について

(事務局説明)

- 協議会の位置づけ(ロックバレースキー場と一体化した道の駅の整備に向けた基本計画の策定を行うなど)について確認。
- スケジュール(道の駅の供用までのスケジュール、協議会のスケジュール)について確認。

5.座長の選出及び挨拶

座長の選出

- (各委員から互選の意見がなかったため)事務局からの提案はないか。
→ 北見工業大学の高橋先生にお願いしたい。異議がないため、座長を高橋先生とする。

座長の挨拶

- 交通は流すことに注目されるが、とどめる機能もある。人を呼び寄せ、発信していく良い道の駅になるように皆さんのアイデアを頂きたい。

6.話題

(事務局説明)

- 道の駅の必要な条件、道の駅の事例(全国モデル、道の駅の状況、遠軽周辺の道の駅)、周辺施設の状況(道の駅まるせつぷの利用状況、ロックバレースキー場の利用者数・施設規模)などについて確認。

道の駅の位置づけ・イメージ

- 今回は町内の観光協会も四地域揃っているため、「オールえんがる」で進めると良いと思う。
- 遠軽町だけではなく、オホーツク全体の玄関口として情報発信するようにしたい。
- 地元根付いた施設とするためには、地域住民がよく使うものにする必要がある。
- オホーツクの玄関口となる事は間違いない。ここから遠軽北見道路につながる拠点ともなり、まさに「命の道路」となりえる。そのためにも『ホッとする演出』が大事である。
- ここの最大の特徴はスキー場と隣接していることであるたり、夏を含めどうアピールしていくかが大事だと思われる。



- 地元もその気になるような盛り上がりが必要。例えば自分たちで野菜を持ってきて販売するなどが考えられる。
- 2～3時間滞在できるような道の駅になってほしい。
- マチ(市街地部)にもよい影響があるような仕掛けがあるといい。

機能(トイレ)

- 綺麗なトイレをつくることを重視したい。汚いトイレには行きたくない。

機能(駐車場)

- EV 急速充電器の設置が出来ると良い。
 - 例えば北見～旭川を電気自動車で行く場合、途中で必ず充電が必要な状況であり、このエリアに充電器があることは望ましい。
- 駐車場台数はどのくらいを考えているのか。
 - 今のところ、100 台程度の広さの舗装面と同じく 100 台程度の平坦な広場とし、冬季に雪が降り積もると踏み固めて 200 台程度の駐車スペースを確保するように考えている。

機能(防災)

- 昨冬、吹雪で国道・高規格道路とも通行止めになり、丸瀬布でもコミュニティセンターでの宿泊や道の駅での車中泊を余儀なくされたことがあり、防災拠点としての意義を感じた。
- 防災拠点とあるが、平時はどのような状態なのか？
 - 防災倉庫に備品が収納されていたり、平坦な広場をヘリポートとして利用させたりする例がある。また、冬季の吹雪時には一時避難できるような設備の設置も可能である。
- 防災機能を高めていくのも重要であると思う。

機能(アクティビティ)

- スキー場に隣接しているので、遊具の設置など、夏利用を含め四季を通した通年活用の他事例を知りたい。
 - 事例を調べる。
- スキー場の夏場利用を高める工夫を考えたい。
- スキー場を併設しているのはなかなか無い特徴となるのではないか。
- 道の駅を考えると、今までは運動施設としてのイメージがなかった。屋外空間の活用を考える場合、例えばパークゴルフ場はどうか。

機能(物販)

- 農協としては農産物の物販などで関わりがあると思うが、どのように関われるのかまだピンときていない。特産品のような目玉が思いつかず、何が出来るか、模索しているところである。
 - 例えば恵庭の道の駅では、普通の野菜が新鮮だということで売れている。特産品だけが目玉になるわけではない。
- オリジナル商品のいい案はまだできていないが考えてはおり、それ用の販売ブースがあると工夫が進むかもしれない。
- 物販・出展の方の立場としては、販売や運営に関する補助金・助成金がないか。
 - 事務局が事例を調べる。

周辺地域(町内外)との関係



- 町内にある道の駅「しらたき」「まるせっぷ」とのバランスが心配である。既存の道の駅の近傍で新しい道の駅が出来た際、利用者が少なくなった場合などの事例はないか。
 - 事例を調べる。
影響はあるが、高規格道路が延伸することで、様々なところに行きたいという誘発需要も見込める。
- 立地を考えたとき、遠軽町ばかりでなく広域・周辺の意見も聞くべきではないか。
 - オホーツクの玄関口として考えると、町民だけではなく、関連する地域の方々の意向を聞く事が必要だと考える。

その他

- 国道からの入り口の位置は変わるのか？現在のコンビニエンスストアの付近とも聞いたが。
 - 入り口の位置は、現在のロックバレースキー場の入り口とほぼ同じ予定である。
- 地元の人には地元の良さ、地場産品の良さを分かっていないこともある。他地域の人に評価してもらい、道の駅を通じて積極的に情報発信していくことも必要ではないか。
- 資料の中に「インバウンド観光」で免税店とあるが、これは外国人を対象としているのか？
 - これからの集客ターゲットとして、外国人対応も視野に入れた受入態勢をとるということである。

7.閉会